

平成27年度 飯島町自治組織アンケート調査

【集計結果】

【調査概要】

(1) 目的

飯島町内における協働のまちづくり推進と地域コミュニティ活性化に向け、町内自治組織の現状等を把握し、今後の行政施策等に生かす。

(2) 実施期間

平成28年1月19日（発送日）～平成28年2月1日（提出期限）

(3) 調査対象

町内自治組織の代表者

※ 自治組織の代表としての回答がむずかしいところは、代表者が自治組織運営を通じて感じていることでの回答を依頼した。

【回収結果】

配布数	回収数	回収率
50	47	94.0%



平成28年2月
飯島町企画政策課まちづくり推進室

集金について

① 1世帯あたりの集金額（年額）はいくらですか？

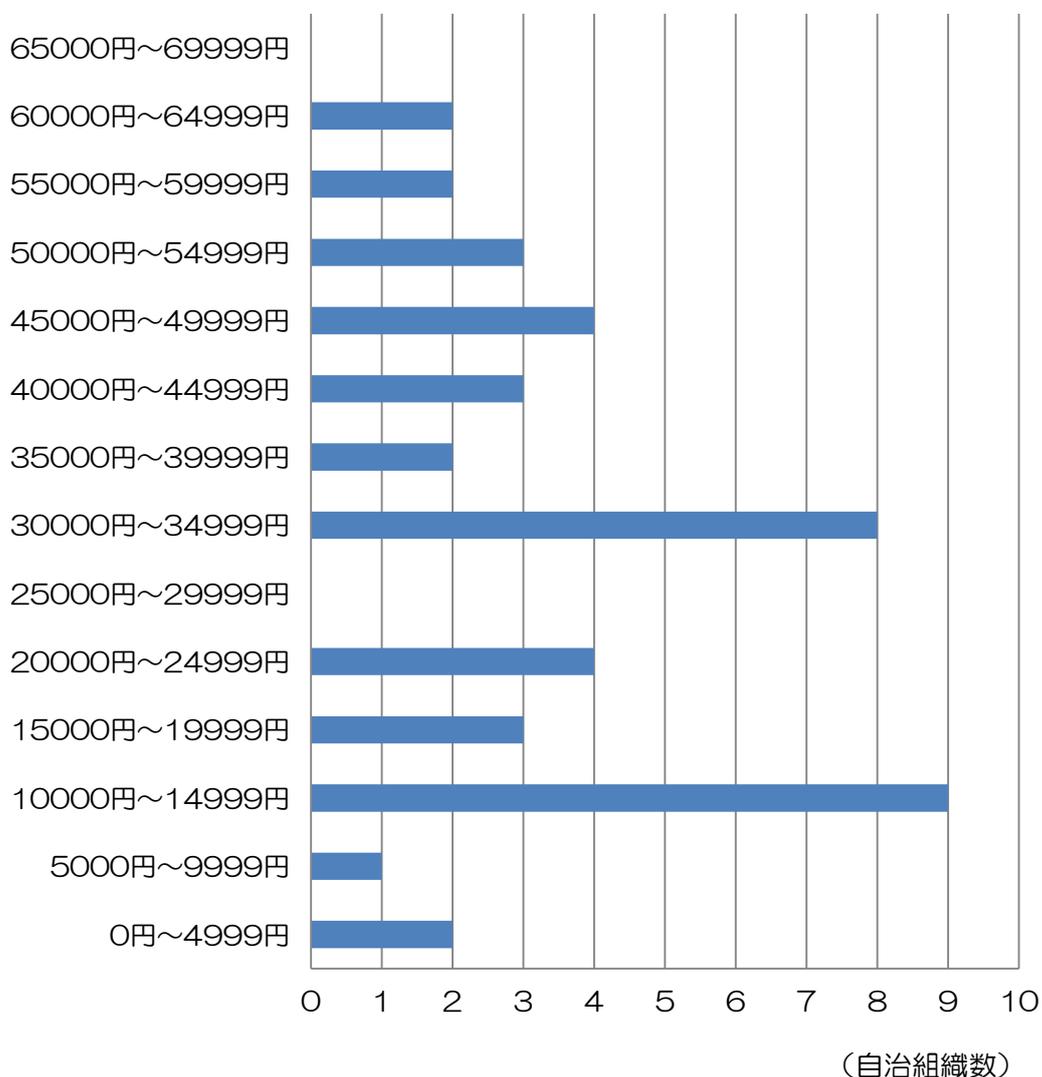
※ 正式に加入している世帯から均一的に集めている額で、各世帯の意向や実情で集金するものは含まれていません。

■ 集金額

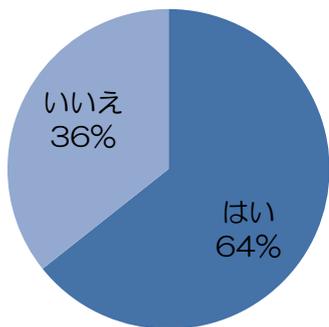
平均額	30,563 円
最高額	62,500 円
最低額	0 円

(※「区」は集計外)

1世帯あたりの集金額（年額） 金額区別の分布



② 新規に加入する世帯から加入金を徴収していますか？

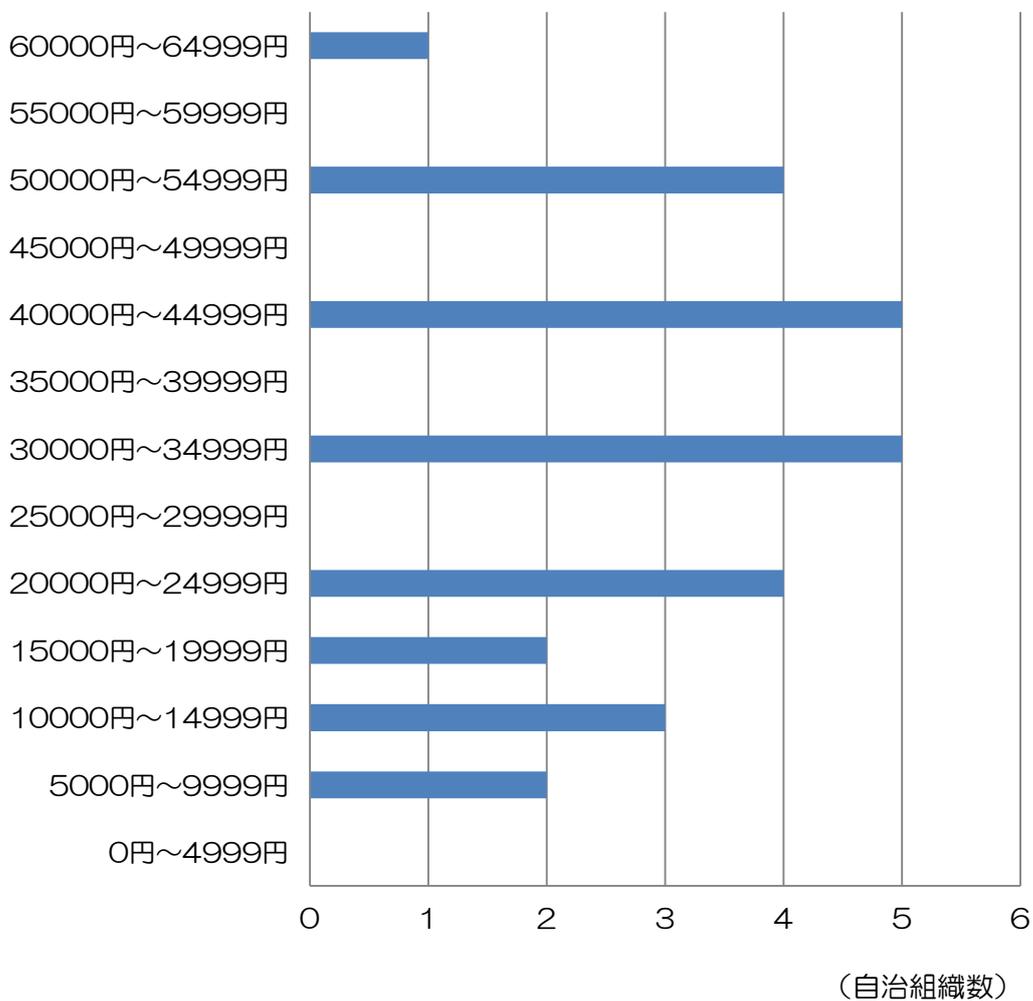


■ 加入金額

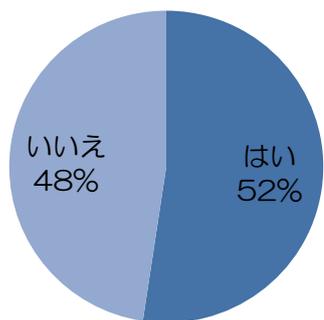
平均額	29,269 円
最高額	60,000 円
最低額	5,000 円

※徴収しているところのみで算定

自治組織加入金 金額区分別の分布



③ 正式に加入している世帯の他に、「賛助世帯」「準加入世帯」等を設けていますか？

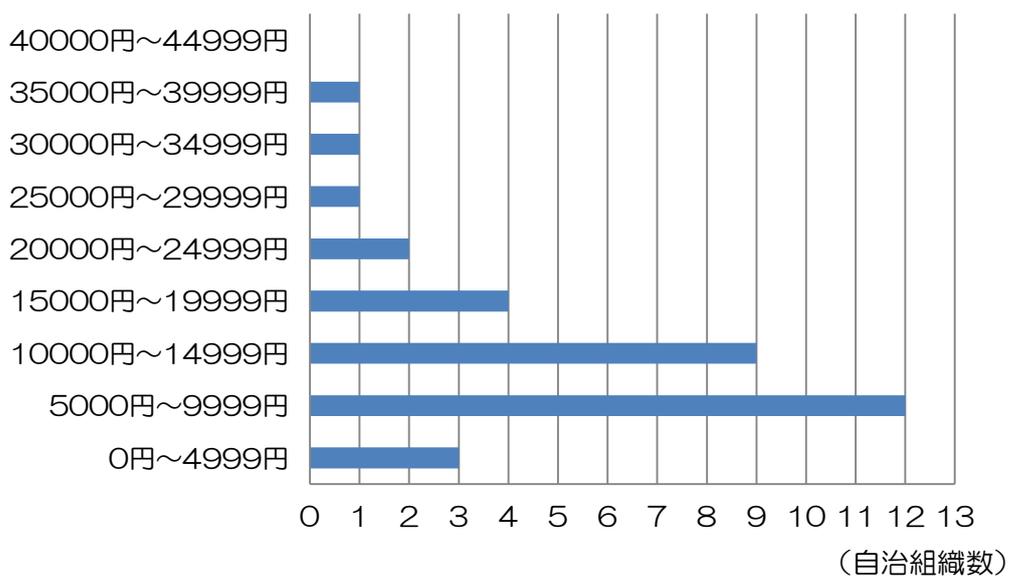


■ 「賛助世帯」「準加入世帯」等からの集金額

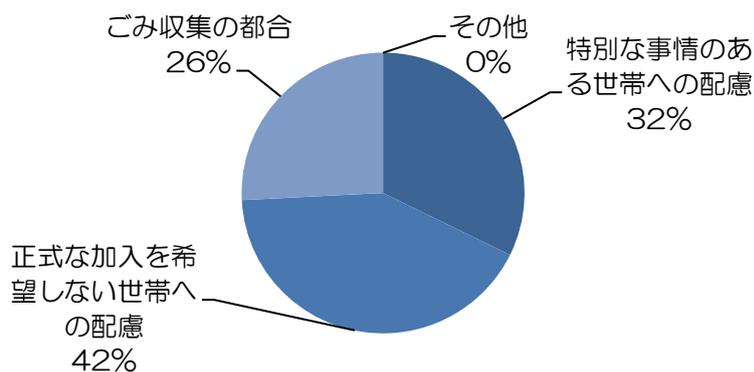
平均額	11,618 円
最高額	36,000 円
最低額	4,000 円

※徴収しているところのみで算定

「賛助世帯」「準加入世帯」等からの集金額 金額区分別の分布



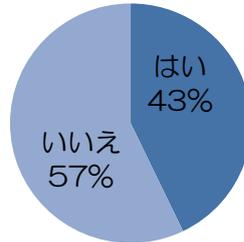
④ 「賛助世帯」「準加入世帯」等を設けている理由はなんですか？



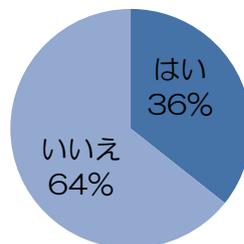
自治組織の呼び方について

※ 自治組織の呼び方を「耕地」としているところのみ

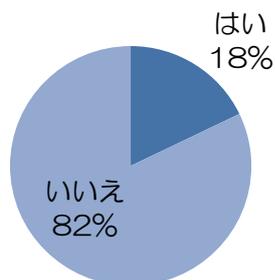
⑤ 『「耕地」という呼び方に愛着がある』



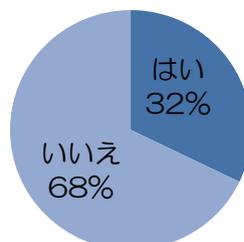
⑥ 『「耕地」という呼び方が一般的に分かりにくい』という意見があることについては、特に問題とは思わない』



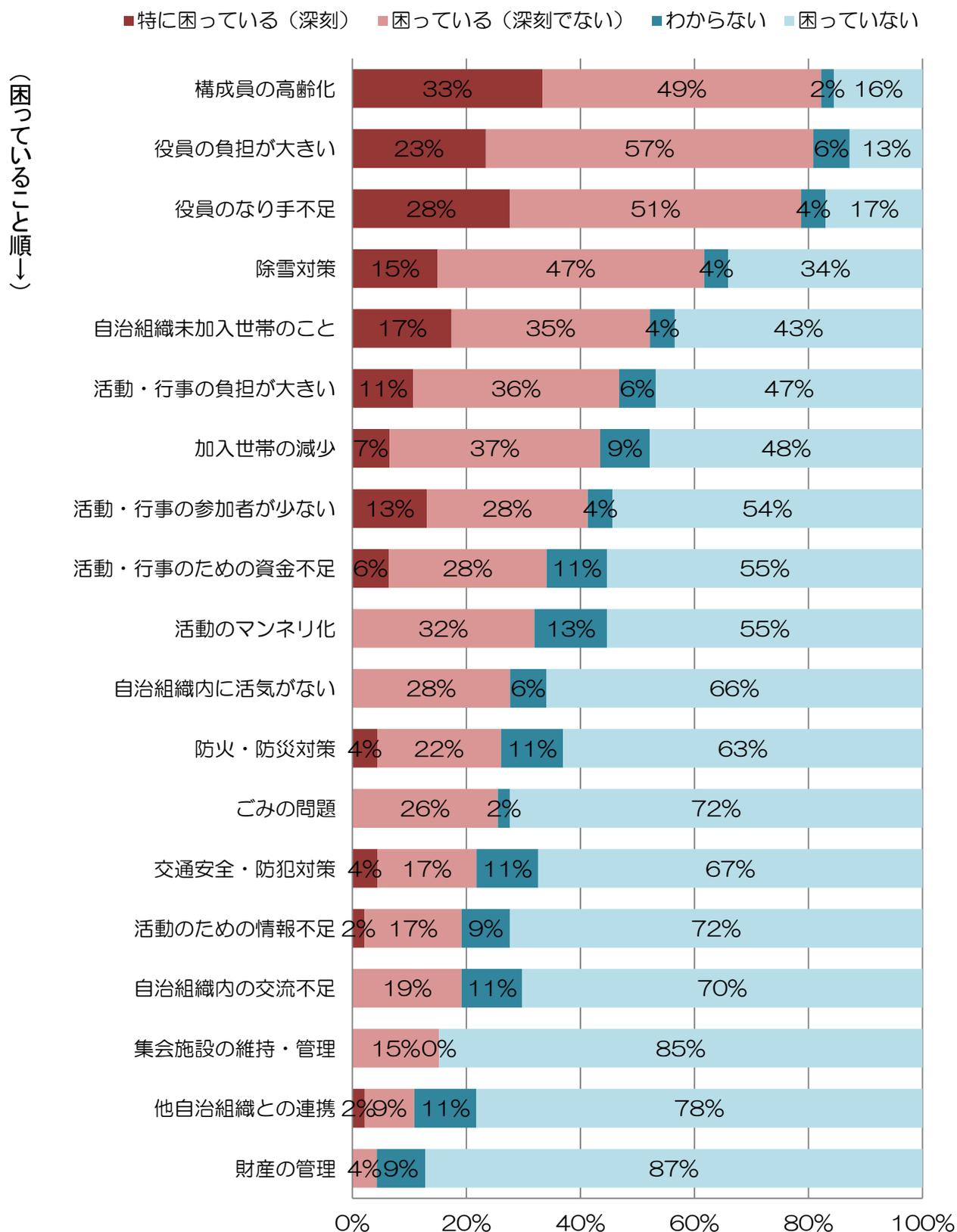
⑦ 『呼び方の変更を積極的に検討したい』



⑧ 『区や周辺自治組織の動向等に合わせて呼び方の変更を検討したい』



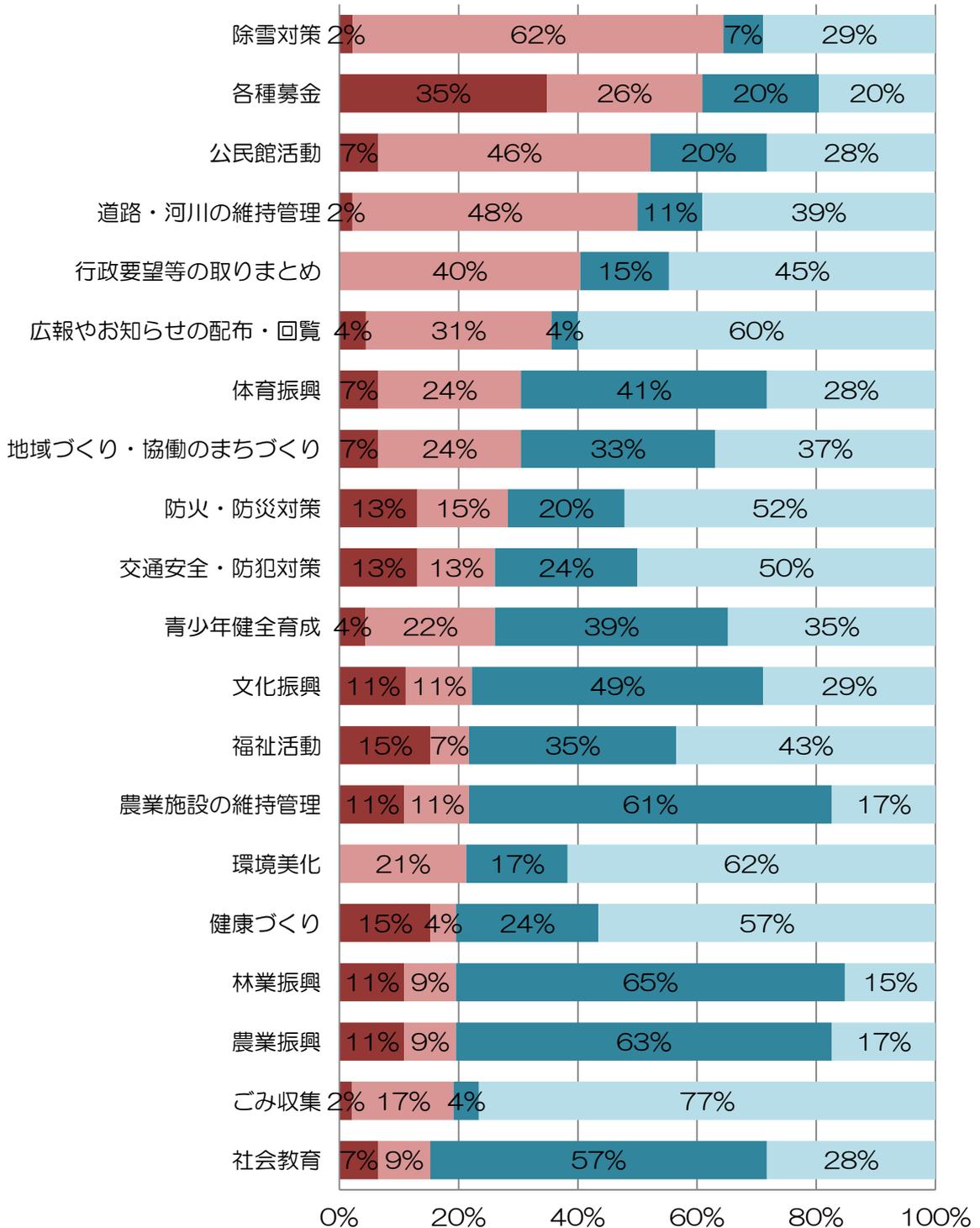
⑨ 運営・活動で困っていることはありますか？



⑩ 行政と自治組織が協力して行う各取り組みについて、行政との関係やその必要性をどのように感じますか？

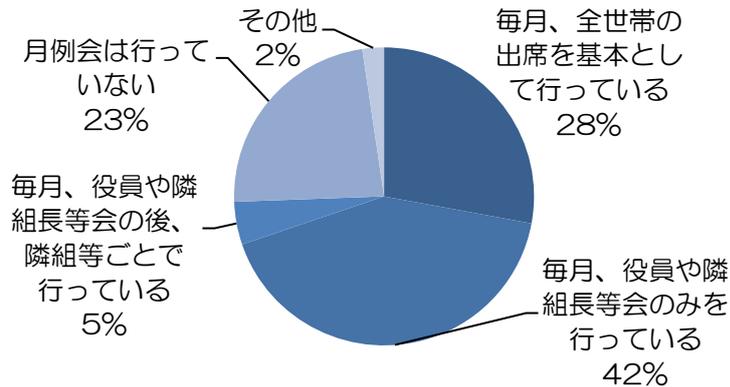
- 自治組織として取り組むことに疑問を感じる
- 必要性は理解できるが自治組織の負担が大き過ぎる
- わからない
- 自治組織と行政が良い協力関係となっている

（行政との協力関係に課題が多いと思われる順↓）



⑪ 月例会はどのように開催していますか？

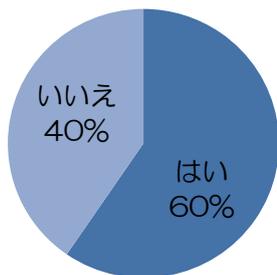
(※「区」は集計外)



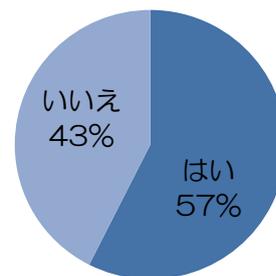
自治組織未加入世帯について

⑫ 町内に自治組織への未加入世帯があることについて、原因は何にあると思いますか？

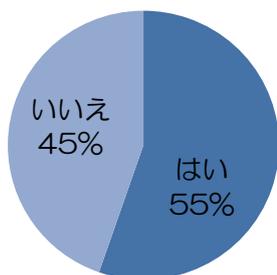
⑫-1 未加入世帯の自治組織への理解が不足していること



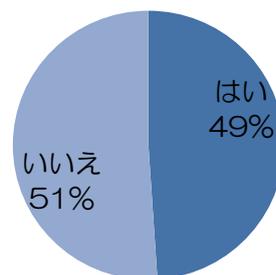
⑫-2 集金等の金銭的な負担が大きいこと



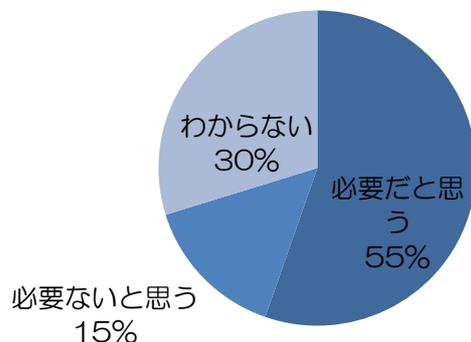
⑫-3 自治組織の役員への負担が大きいこと



⑫-4 自治組織活動そのものの負担が大きいこと

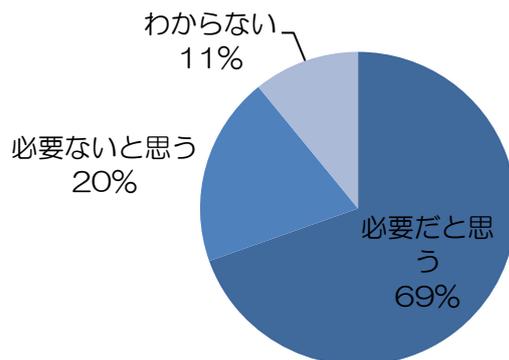


- ⑬ 定住促進のため町に多くの方を招いていくことや、より多くの方に自治組織に加入いただくことに向けて、貴自治組織でも何らかの取り組みが必要だと思いますか？



自治組織内の見直しについて

- ⑭-1 貴自治組織の将来を考えた場合、組織や運営方法などについて、大きな見直しが必要だと思いますか？



⑭-2 近年（おおむね過去5年以内）に、貴自治組織の自主的な「見直し」や「改革」などで変わったことはありますか？

（自由記述、順不同）

- ・ 会議を減らした
- ・ 各事業を見直し簡素化に努めた
- ・ 各種活動助成費を見直した
- ・ 各種作業・総会等の出不足金を軽減
- ・ 行政・福祉関係の徴収金（募金等）については耕地会計からの一括支払いとした
- ・ 組長会（集金常会等）の時短に努めた
- ・ 耕地加入金の引き下げ
- ・ 耕地加入金の見直しを行った（5万円→3万円へ、段階的に行う）
- ・ 耕地内役員の報酬を減らし、他の事業へ振り替えた
- ・ 耕地の10年後を考える会を実施（ワークショップ2会、報告会1回）
- ・ 耕地の防災規約を作成した
- ・ 耕地祭と敬老会を別にした
- ・ 桜まつりを耕地の行事として取り組むことにした（本年度第3回目）
- ・ 事業を整理した
- ・ 自治会改革の意見に否定的な人が多い
- ・ 自治会加入金を3万円から1万円に引き下げた
- ・ 自治会組数を12組から8組へと組編成を行った
- ・ 自治会内の交流の為（老若男女、子供含む）の為、秋祭りを新たに実施
- ・ 自治会費を下げた（3件）
- ・ 自治会役員（執行部）を、4名から3名に近日中に変える（若年層人員不足による）
- ・ 従来集めていた、除雪費の徴収を止めた
- ・ 除雪対策の為の物資等の要望をした
- ・ 除雪の一部を町に依頼した（機械除雪）
- ・ 神社氏子役員の再任を繰り返さないよう定期的に交代して行くこととした
- ・ 特別な事情のある世帯への配慮
- ・ 年度当初の総会の時間短縮
- ・ 人が少なく、一人二役をやらなければならなくなった
- ・ 防災訓練で安否確認、避難を隣組単位とした
- ・ 防災体制の見直し（平日日中不在者が多いのでその対応）
- ・ 町全体で行うものとは別に、区独自で行う防災訓練を実施（年1回）
- ・ 役員数を減らした（4件）
- ・ 役員の兼務を増やし、役員人数を減らした
- ・ 役員組織見直しを行った
- ・ 予算書の項目立てを抜本的に改めた
- ・ 例会での説明事項をプリントで配布し、欠席者への周知を徹底
- ・ 老人クラブを解体し、高齢者クラブを新規立上げ活発な活動をするよう組織替をした

自治組織の規模について

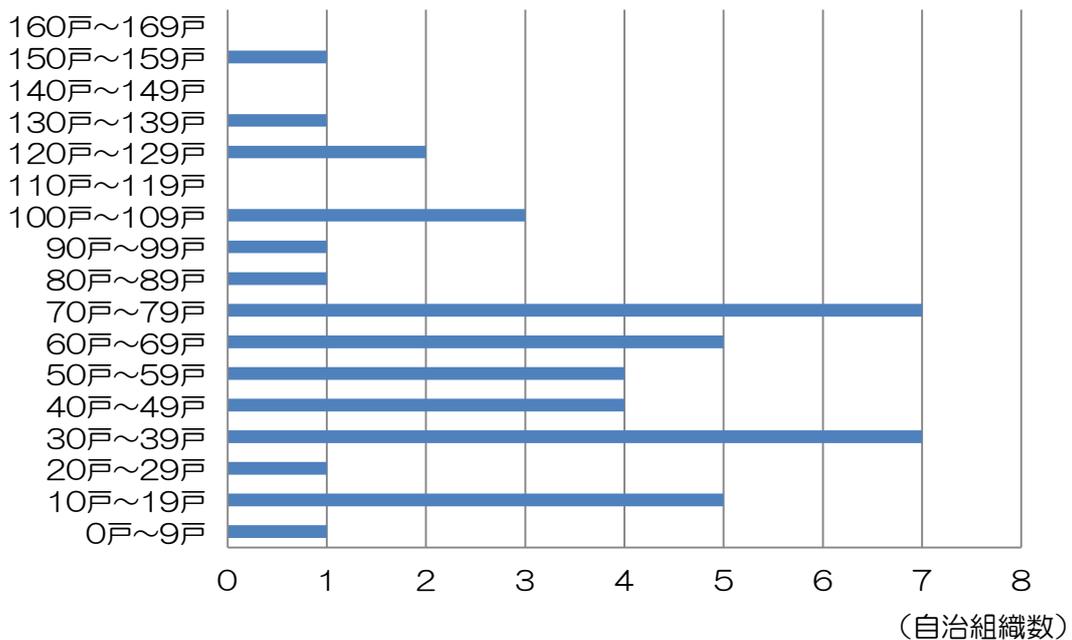
⑩ 貴自治組織の加入戸数は何戸ですか？

■ 戸数

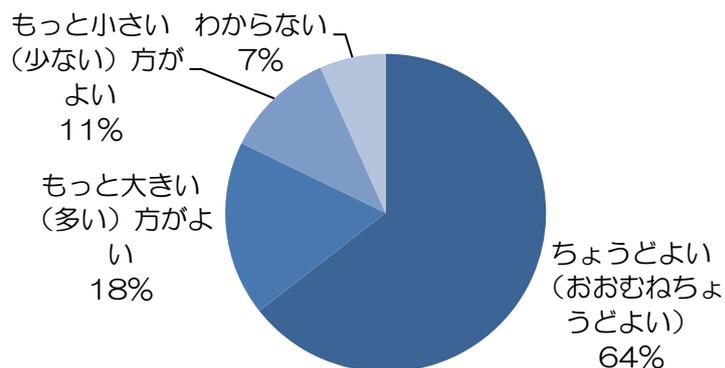
平均戸数	60 戸
最高戸数	154 戸
最低戸数	6 戸

(※「区」は集計外)

戸数の分布



⑪ 貴自治組織の戸数規模について、どのように感じていますか？

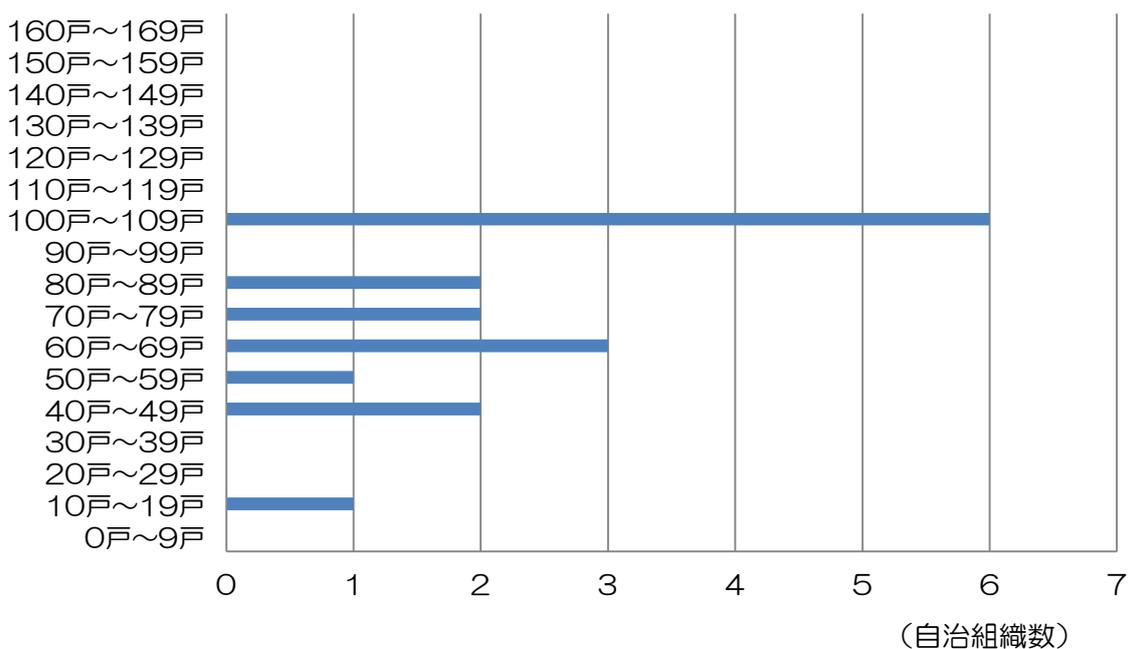


⑱ 自治組織を運営するにあたっての理想の規模は何戸だと考えますか？

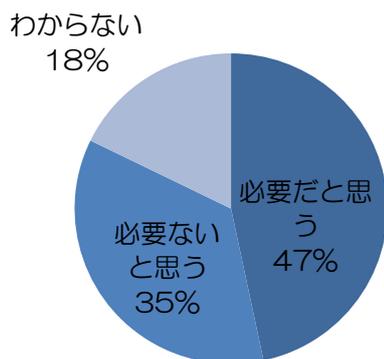
平均戸数	72 戸
最高戸数	100 戸
最低戸数	18 戸

(※「区」は集計外)

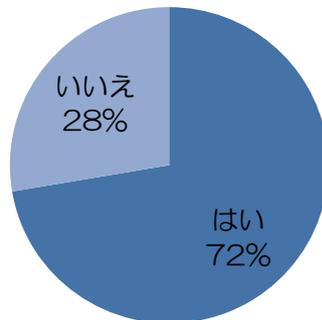
理想戸数の分布



⑲ 貴自治組織の将来等を考えた場合、合併や分離など自治組織規模の再編成が必要だと思いますか？



- ⑳ 自治組織が自主的に新しい活動に取り組むときなどに、町には、そのために掛る費用の一部を補助する制度「協働のまちづくり推進事業補助金」があります。このことを知っていますか？



⑩ 町に対する意見や要望などがありましたら、
何でもご記入ください。

(自由記述、順不同)

- ・ 空き家に住みついた狸や蜂などは、町が駆除に動いてほしい
- ・ 新しく開通した道路の周辺（土手）の草刈りや管理を行ってほしい
- ・ 各種事業の申請・交付決定を早めに周知願いたい
- ・ 各種補助金は事業を行うにあたりたいへん助かっている。補助率のアップを検討いただきたい
- ・ 区や公民館も含めると役が多すぎるので、行政で出来ることはやってもらい自治会の負担を減らす方向が望ましい
- ・ 現在の町会議員の定数の見直し(例：議員削減をし自治会が補足をする。当然、自治会役員には手当を必要とする。これにより自治組織と行政が密接になる)
- ・ 災害等緊急時にアパート居住者の情報がない。大家を通じて自治会づくりをして欲しい
- ・ 自治会から町に提出する調書、書類等もっとわかりやすく簡潔にしてほしい。行政用語をそのままおろすことを改善していただだけでもずいぶん助かります
- ・ 自治会等への補助等についての見直しがされていない
- ・ 自治会の組長会を毎月20日に行っているため、配布物は17～18日に配布してほしい
- ・ 住民は各組織の仕組み、書類等に対して無知。説明を聞いてもなかなか理解できない、また間違った説明を受けたこともある。スムーズで正確な対応をお願いしたい。
- ・ 少子高齢化や夫婦共働き化により役員を担いきれない
- ・ 職員の耕地担当制が広報の配布が主となっている。地域の様子を見聞きし理解を深めて協力をお願いしたい。町へ提出する書類の作成にあたり助言や協力をお願いしたい
- ・ 生活改善推進員、健康推進員、防犯指導員、消防団、自警団、安協等は現在の組織規模が必要か
- ・ 組織の大小関係なく色々な役員数は同じで、役員の数で全体の2/3位の世帯となり役員決めに苦労する。役員数を減らすことを検討いただきたい
- ・ 第二の人生を送る方々は当耕地には不要と思う
- ・ 地域の行事、役員等の負担を原因の一つとして、30代40代の流出が進んでいます。町が調整役を行う形で負担を減らす方策を考えてほしい
- ・ 町営住宅住居者の自治会の設立を希望
- ・ 提出物などで番地記入を求められるが一般の人は調べにくい。町で調べて欲しい
- ・ 共働き世帯や子育て世帯が多いので、平日夜の会議がかなりの負担
- ・ バイパスの草刈りをしっかりやってほしい
- ・ バイパスや道前線でジョギングや散歩を行う方が多くなったので、照明をつけ歩道を明るくしてはどうでしょうか
- ・ 一人暮らし高齢者世帯が増えている。災害時等の支援について自治組織と協力して考えていく必要がある
- ・ 防災無線での交通安全やその他緊急性のないものまで放送しているのはどうか
- ・ 補助金について自治組織が一旦立替払いしなくてはならないことがネックとなっている。補助金の先払いを検討いただきたい

- ・ 毎月の配布物が多い。経費もかかるので3カ月に1度くらいにしたらどうか。町からの冊子（広報いいじま等）は必要
- ・ マイナンバー制度説明会の開催を希望
- ・ 町から依頼される役員は本当に必要か。町と町が所管する組織について見直しが必要
- ・ 町広報・議会だよりいつも楽しく読ませていただいています。議会だよりで、条例等だれが賛成しだれが反対したのかわかるようにしていただけるとありがたい
- ・ 町全体の自治会長・耕地総代会の充実をのぞみます
- ・ 町との文書調書のやり取りを、文書だけでなくメールでもできるようにしてほしい。その際、昨年度の提出内容も添付していただけると助かります
- ・ 町の委員の選出を区長や区から一名出すなど、押しつけない
- ・ 町の業務はもっと職員も使うべき。人任せにしている。自治組織は町の為でないと思う
- ・ 町のホームページを、もう少し充実してもらいたい
- ・ 未加入者対策の強化希望
- ・ 未加入世帯に加入のアピールをお願いしたい
- ・ メール配信も、決まった日時に行って貰いたい。内容も充実してほしい
- ・ 役員を担える人が少ないため早い周期で役員が回ってくる。回数の多い会議は負担なので、会議への出席は免除してほしい
- ・ 役場の職員がやれば出来るようなことも、自治会にお願いしてくる事もあるように思います
- ・ 容器包装プラスチック類、廃プラスチック類は、将来的には焼却し発電でもした方がよいのでは
- ・ 用水路に雪が溜まって水が道路にでた時に自治会長や副自治会長に電話があるが、みんな昼間は勤務していて対応できない
- ・ 若い人や町外出身者が多いため、自治会活動の意義を理解していない人が多い。新規加入や未加入者解消の為に、もっと解りやすい説明や支持が必要